



国際会長 (IP) Ulrik Lauridsen (Denmark)

“Let Your Light Shine”

「輝かそう、あなたの光を」

会長 古田 和彦
副会長 秋元 美晴
書記 古賀 健一郎
会計 大高 治
直前会長 古賀 健一郎

アジア太平洋地域会長 (AP) 利根川 恵子 (川越)

“Be the light for change”

「変革のための光となろう」

監事 松島 美一
ブリテン 伊藤 誠彦
担当主事 立花 明美

東日本区理事 (RD) 山田 公平 (宇都宮)

“Instil Confidence in our Youth”

「未来のために今、学びと気づきを！未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

湘南・沖縄部部長 (DG) 黒川 勝 (金沢八景)

「初心に帰り、新たな船出を踏み出そう」

副題：「ワイズメンズクラブはYMCAとともに」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に仕えよう」

<今月の聖句>

古賀健一郎

主はあなたを苦しめ、飢えさせ、あなたも先祖も味わったことのないマナを食べさせられた。

人はパンだけで生きるのではなく、人は主の口から出るすべての言葉によって生きることをあなたに知らせるためであった。(申命記 8章3節)

今月のひとこと

『サプライズを受ける』

押川 幸男

今月11月第一週の主日は、日本キリスト教団の教会暦では、聖徒の日です。多くの教会で永眠者記念礼拝または召天者記念礼拝が予定されていると思います。

先日、甥の結婚式があり、宮崎に行ってきました。結婚式が土曜日だったので、翌

日の日曜日に、かつて(20数年前)牧会していた宮崎教会と共愛幼稚園を訪ねることができました。宮崎教会の方を



<2023年10月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
12名	メン 7名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 7名 ゲスト 2名 合計 16名	75 % (メーキャップ 2名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

<11月の行事予定>

BF iGo・STEP

日	曜	時間	行事内容	場所
9	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央 Y
22	水	17:00	横浜クラブ第二例会	中央 Y
23	木	10:00	中央 Y ウェルカムフェスタ	中央 Y
25	土	14:00	湘南・沖縄部部大会	とつか Y
25	土	16:00	部第 2 回評議会	とつか Y
26	日	13:30	熱海クラブ 60 周年記念例会	熱海後楽園ホテル

<11月第一例会報告>

齋藤 宙也

日時：10月12日（木）18：30～20：20

場所：横浜中央 YMCA812 教室+ZOOM によるオンライン会議

出席者：立花、秋元、伊藤（ZOOM）、大高、古賀、齋藤、古田

ビジター：山田公平（東日本区理事・宇都宮）、黒川勝（部長・金沢八景）、鈴木茂（横浜つづき）、千葉裕子（鎌倉）、佐藤節子（厚木）、徳澤洋子（厚木）、小松伸史（厚木）

ゲスト：富山姫路子、武田美奈子

新型コロナウイルスが5類になったこともあり、基本的に対面で開催した。

今月は、かなり久しぶりに、東日本区理事を宇都宮からお招きした。今月の卓話は、山田東日本区理事から、「理事として思うこと」という題目でなされた。東日本区理事になられて3か月余りの時期であったが、理事の任期1年で何ができるかと考えたとき、結局、大量の文書、会議で1年が終わってしまうという実情が、最初に述べられた。

その後は、大別して、①ワイズの目的が明確に伝わっているか②本来のワイズと YMCA の関係はどうなっているか③区ないし部の業務のスリムダウン④これまでの1年交代、トロイカ体制は機能しているかという項目が示された。

①について、ユースエンパワーメントとユースの育成は必ずしも同じでなく、飽くまでユースを主体とするエンパワーメントを YMCA と協働することに意味があり、育成は結果にすぎない、交流や学びを強調するより、ユースエンパワーメントを YMCA と一緒に行うということを示していくべきであるとの指摘がなされた。

②について、YMCA の常議員とワイズが一体となっている（一人称状態）のが望ましいが、横浜はワイズの比率が低下しており、二人称状態になってしまっている、職員も、退職後ワイズになってくれる人が少なく、ワイズと職員の距離が

できてしまっているとの指摘がなされた。

③について、区理事はほぼ毎日 ZOOM 会議に出ずっぱりであり、ワイズコムで流しているものもどれだけ実際に読まれているのかという疑問が示された。その中で、もう少し業務を減らしていくことも考えていくべきとの指摘がなされた。

④は、時間切れとなってしまったが、直前、次期理事と現理事との間に遠慮があり、余りこの3者によるトロイカ体制は役に立っているのであろうかという疑問が示された。

最後は、理事としての8つの目標について語られ、特に、ユースエンパワーメントについて重点的に語られた。ワイズの例会に、支援したユースやその親御さんに来てもらってはどうかといったアイデアが提示された。

以上を踏まえて、元部長の参加者を中心に活発な質疑応答、議論がなされた。

全体的に、ユースエンパワーメントを重視する姿勢が感じられ、ワイズの現在の組織体制の在り方についても見直しが進められていることを理解することができた。

例会終了後、恒例の記念撮影（スクリーンショット）が行われ、無事に例会が終了した。有志は、2次会で更に懇親を深めた。

「第26回横浜 YMCA

インターナショナル・チャリティーラン報告」

古賀 健一郎

「横浜 YMCA インターナショナル・チャリティーラン」は26回目を迎えた。これまで1万人を超える障がい児・者支援プログラムのために支援金を用いることができた。

今回のインターナショナル・チャリティーランは10月16日～10月30日の“オンライン大会”（ウォーキングの累計歩数をカウント）と10月14日の“リアル大会”（会場：臨港パーク特設コース）にて、ハイブリッドチャリティーランの開催となった。

【チャリティーラン開会にあたって】

① 実行委員長の黒川勝ワイズ（湘南・沖縄部部長）の挨拶

「このチャリティーランは障がいのある青少年を応援するイベント。楽しみながら実施するこのチャリティーランで集められた収益金は、障がいのある青少年のためのキャンプやプログラムの支援金のために活用される。障がいのある子どもたちへの社会的な関心を高める機会として、より多くの皆さまに、チャリティーランにご参加、協賛いただくことで、障がいのある子どもたちのプログラムが増え、多くの子どもたちが参加できるようになる。今年も臨港パークのリアル大会、そしてオンライン大会を開催。リアル大会は、4年ぶり一般コースが再開して、多くの皆さまにエントリーをいただいている。また、累積歩数を競うオンライン形式にもチームとして、個人として、多くのエントリーをいただいている。それぞれのペースに合わせて、ご参加いただけますと幸いです。」

② 横浜 YMCA 佐竹博総主事の挨拶

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

「この3年間、コロナウイルスの感染拡大によって、会場開催を断念するなど影響を受けたが、障がいのある子どもたちのキャンプのために、オンライン開催に取り組んだところ、多くの皆様に参加いただき、キャンプ参加の支援を続けてこられた。皆様の熱い思いが引き継がれている。今年度は昨年を引き続き、リアル・オンラインのハイブリッドチャリティーランの開催となった。これからも、すべての人に新しい何かが見つかる場所を提供し、人と出会い、あらたな学びや体験を通して新たな世界とつながる、一人一人の人間的な成長を応援したい。一人がよくなると世界がよくなっていくことを願っている。ご参加の皆様も、一人一人が、それぞれの見つける、つながる、良くなっていくを体験されるように願う。』

【リアル大会】

日時：10月14日(土) 会場：臨港パーク特設コース
午前8時、湘南・沖縄部のワイズを含む120名を超える横浜YMCA職員・ボランティアが集まり、打ち合わせ、会場準備し、4カテゴリー（幼児・スペシャル・小学生・一般）合計62チーム310名のランナーのスタートに備えた。



「ワイズ湘南・沖縄部のみなさま」

（プログラム）

10:00 幼児コース(200m x 5名)
10:30 スペシャルラン(200m x 5名)
10:45 小学生コース(500m x 5名) 11:30 小学生以上コース(800m x 5名)



「子どもたちの力走」

今大会でも、パラスポーツアスリートのみなさんが大会の趣旨に賛同し、参加されました。デフリンピック（聴覚障がい者のためオリンピック）の自転車競技の選手、早瀬憲太郎さん、早瀬久美さんは一般コース（800m×5）に参加された。



12:15 競技終了し、その後、後片付け・ビブスを返却し、12:30 解散した。

（横浜クラブからは古田、古賀の2名が参加）

最後に……。

【チャリティーラン参加の方(募金にて)からの声(2020年)】を下記に記し、“チャリティーランの意義”について、あらためて心に留めたい。

「ハンディキャップを持っていると、それ自体は個性と見なされるような世の中にはなっているものの、現実問題としては公共機関による移動やその他諸々の手間やお金が必要になることが多い。そういったことが原因で、本人に前向きな気持ちがあっても、さらには周りに前向きな気持ちの方がいらっしゃっても、各種活動を断念してしまうことがあるのではないかと思う。

長年、横浜に住んでいながら、また、自身もランニングなどのスポーツに親しんでいるにもかかわらず、YMCAのチャリティーランの存在を知らなかった。今回のプロジェクトによってこのような活動をしていらっしゃる団体があることを知れて本当に良かった。

ハンディキャップの有りに無しに関わらず、こどもたちが希望を持ち続けたいける社会になればいいなあ、と切に願う。」

近況報告

立花 明美

「人を動かすことのできる人は、他人の気持ちになれる人である。その代わり、他人の気持ちになれる人というのは自分が悩む。自分が悩んだことのない人は、まず人を動かすことはできない。(By 本田宗一郎)



2023年度より横浜中央YMCAへ異動となり、また横浜ワイズメンズクラブの担当主事となりました。右も左もわからない私を、横浜ワイズメンズクラブの皆様が、一つずつ丁寧に教えてくださり、何とかこの6か月を過ごすことが出来ました。まずは、心からありがとうございますと皆さんに伝えたいです。

私の専門学校業務の殆どは留学生対応です。今年4月に横浜中央YMCAへ異動して日本人学生の大変さが見えるようになりました。学習できる環境が整っていない／学びに少し困難がある／対人関係に悩むなど。卒業後はどうするの？専門職になるから勉強しているんだよね？…色々学生の悩みは尽きません。それでも学生たちと話をすると私の心配事や悩みは一気に吹き飛びます。対話マジックだなあって思いま

す。時々私は、台湾や韓国の現地 YMCA スタッフと最近の学生について話をすることがあります。現地スタッフもそれぞれ悩みがあることを知りました。ですが、「留学生も日本人学生も一緒だね」と最後は笑って終わります。何も解決してはいませんが、私はすっきりした気持ちになります。

気づいたこと。それは、私はいつも誰かに助けられていることです。だから、いつか私は誰かの助けになれる人になれたら・・・と思うこの頃です。これからも、学生支援をどうぞよろしくお願いたします。

第二例会報告

古田 和彦

日時：2023年10月26日（木）17:00～18:00

場所：Zoomによる開催

出席者：秋元、大高、古賀、立花、古田

協議・確認・検討事項

1. 行事予定

資料により12月までの予定が示され、了承した。12月も一部予定が示され、了承した。

2. 協議・報告事項

(1) 伊藤誠彦ワイズの件

- ・10/17 緊急入院した。一時の危機は脱したとのこと(なお、11/1 退院との報告あり)。しばらくワイズはお休み。
- ・ブリテン編集について相談。秋元・古田で当面編集作業は進めることとした。

(2) 11月例会

日時：11月9日（木）18:30～ *リーダーの都合によっては時間変更

内容：YVLF 参加リーダー(2名を予定)の報告

*終了後懇親、謝礼は無し

(3) 11/23 (祝・木) 横浜中央 YMCA ウェルカムフェスタ

- ・11/22(水)14:00-17:00 バザー値付・会場準備など。
- ・11/23は10:00-15:00。両日、メネットも含め、準備・売り子を行う。
- ・11/22 作業終了後に短く第二例会を行う。

(4) 12月例会

・12/14 横浜中央 YMCA 各部門訪問とする。時間は各部門と調整する。

(5) ブリテン11月号編集計画の確認

原案通り了承された。

(6) 勧誘名刺の件

名刺作成をどう進めるか、立花、古田、大高、秋元で11/9 打ち合わせことになった。

いて学び、今とこれからの働き方について学ぶ機会を持ちました。

また、冬期講習会やスキーキャンプの受付、これから始まる国家試験など、各事業の行事で会員や学生も忙しい毎日が始まりました。

・10月2日（月）10月留学生プレイメントテスト、2024年4月留学生出願受付開始

・10月4日（水）こども食堂、

・10月5日（木）2023年後期日本語学科講師会、作業療法科SV会議

・10月6日（金）のんびりんこ：大人のモヤッと相談

・10月7日（土）国際情報ビジネス科 第1回入学試験

・10月14日（土）チャリティーラン/美しい港町横浜清掃活動

・10月16日（月）～20日（金）光州短期研修

・10月21日（土）国際情報ビジネス科 第2回入学試験

・10月22日（日）空手昇給審査/聖光学院プール貸出

・10月29日（日）のんびりんこ日曜開館 パパとあそぼう

・10月30日（月）作業療法科保護者面談

11月例会プログラム

日時：11月9日(木) 18:30～20:30

場所：中央Y

司会 大高 治

1. 開会点鐘および挨拶・・・・・・・・・・ 古田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条・・・・ 全員
3. 今月の聖句・・・・・・・・・・・・・・ 古賀ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介・・・・・・・・ 古田会長
5. 卓話 「YVLF 参加報告」
ユースリーダー2名
6. ビジネス・報告・・・・・・・・・・・・ 古田会長
7. *Happy Birthday* 大高幾子、伊藤比朗美、
伊藤誠彦、押川幸男
8. 閉会点鐘・・・・・・・・・・・・・・ 古田会長

例会報告：大高ワイズ

12月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
14	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
16	土	13:30	横浜 YMCA クリスマス礼拝	横浜指路教会

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 立花 明美にご連絡下さい。

メール tachibana_akemi@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080



担当主事 立花 明美

10月9日（祝・月）に横浜 YMCA 全体研修が聖光学院で行われました。すべてのスタッフが集まり、ウェルビーイングにつ

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★